

2019年 4月 3日

心臓血管外科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

## 「左前下行枝領域のタンデム病変に対する血行再建後の 遠隔成績および心筋シンチグラフィを用いた研究」 への協力のお願い

心臓血管外科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

**研究の対象**：2004年6月～2018年6月に当科において、冠動脈バイパス術を受けられた方

**研究期間**：倫理審査委員会承認日～ 2020年12月31日

**研究目的・方法**：タンデム病変とは1本の冠動脈（心臓を栄養する血管）に2カ所以上の病変があるものを指します。タンデム病変がある場合、手術の方法や病変の状態によっては心臓の一部の血流が改善しない可能性があります。特に重要な冠動脈である左前下行枝において、これが術後経過や術後心機能にどのような影響を及ぼすのかを研究することを目的としています。これまでの通常の診療において得られた情報を解析して研究を行いますので新たな検査等は必要ありません

**研究に用いる試料・情報の種類**：

カルテ記載内容（診断、性別、年齢、身長、体重、手術日、手術記録、人工心肺記録、循環補助装置使用の有無、生死、死亡日、喫煙歴、既往歴、内服薬、冠動脈の追加治療の有無、冠動脈関連合併症の有無、狭心痛の有無、心不全症状の有無、その他の合併症の有無、また、それらの発症日、術後経過、入院期間）の他、血液検査、尿検査、心エコー検査、心電図検査、心臓カテーテル検査、心筋シンチグラフィ検査、CT検査の検査結果を用います。

**研究への参加辞退をご希望の場合**

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

**研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反**

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

**連絡先・研究責任者**

岐阜大学医学部附属病院 心臓血管外科（第1外科）

電話番号 058-230-6235

氏名：小椋 弘樹